



川内市医師会は、薩摩川内市と受託契約を結び、在宅医療推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み・在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

## フットケアのミニ勉強会 開催しました！！

8月6日、9月3日川内市医師会立市民病院 糖尿病看護認定看護師の濱田さんとフットケア担当看護師の奥さんを講師に招き、フットケアに関する勉強会を行いました。当日は、模型を使い実際にフットケアの実技を行い、皆さん真剣に取り組まれました。フットケアの基礎や日々の観察の仕方、フットケア外来の紹介など、学びの多い勉強会となりました。



使用した道具

## 『いいせんリンク』新機能を追加し、より便利に！



令和2年9月から「ポータル機能」「タグ管理機能」「利用者間メール機能」を追加しました。それぞれの詳しい機能につきましては、説明用動画を準備していますので、こちらのQRコードにアクセスし、ご覧ください。

＜説明用動画＞



## 新しく開設された事業所をご紹介します！



2020年4月開院  
『ありむら糖尿病・甲状腺内科クリニック』  
住所：薩摩川内市御陵下町23番地7号  
TEL:26-1100  
休診日：木・土午後、日曜・祝日



2020年4月開設  
『あおは薬局』  
住所：薩摩川内市御陵下町23番地6号  
TEL:26-1185  
定休日：木・土午後、日曜・祝日



2020年5月開院  
『こどもデンタル河村』  
住所：薩摩川内市宮内町2022  
TEL:26-1206  
休診日：水曜、日曜・祝日

## 川内市医師会 在宅医療支援センター

TEL:0996-22-4021 FAX:0996-22-8114

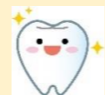
## 薩摩川内市歯科医師会 在宅歯科医療推進室

TEL:0996-22-0014 FAX:0996-22-0015

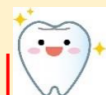


## 在宅医療の相談窓口

気軽にお電話ください



## 「オーラルフレイルを見逃さないために！」



いいせん便り第4号で記載しましたように、フレイルの大きな特徴としましては「しかるべき適切な介入により、機能（予備能力・残存機能）を戻すことが出来る。」ということがあります。そのためには、フレイルの兆候をいかに早く見つけることが出来るかが非常に重要となります。特に、オーラルフレイルはフレイルの前に現れる（プレフレイル）場合が多く、早期発見は健康寿命を延ばすには非常に有効と考えられています。具体的にはどのような症状が当てはまるのでしょうか。

オーラルフレイルは、大きく分けて4つのステージに分類されます。そのうち、第3、4のステージは専門家による診断・治療が必要な状態です。より軽症であり、自分の努力によりある程度回復可能な第1、2ステージの自己チェックとしては、以下の方法があります。

### 「オーラルフレイル」のセルフチェック 4点以上で、「危険性が高い」

(日本歯科医師会ホームページより)

質問事項	はい		質問事項	はい	
	いいえ	ええ		いいえ	ええ
半年前と比べ、堅い物が食べにくくなった	2		半年前と比べ、外出が少なくなった	1	
お茶や汁物でむせることがある	2		さきイカ・たくあんくらいの堅さの食べ物を噛むことができる	1	
義歯を入れている	2		1日に2回以上、歯を磨く	1	
口の渇きが気になる	1		1年に1回以上、歯医者に行く	1	

※合計点数が

0～2点：危険性低い

3点：危険性あり

4点以上：危険性が高い

3点以上の方は歯科医院にて相談されることをお勧めします。

オーラルフレイルを予防し、「健口で延ばそう健康寿命」をスローガンにいつまでも元気で過ごしていきましょう。

(文責：薩摩川内市歯科医師会 銀屋一彦)



地域包括支援センターは、**高齢者等が住み慣れた地域で尊厳を保持したその人らしい生活を継続できるようにするために地域包括ケアシステムの構築**を目指します。地域包括ケアシステムとは、

「地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活が包括的に確保される体制」と規定されています。また、地域包括支援センターは地域の相談窓口として全ての相談を受け付ける**ワンストップ相談窓口**となっています。

薩摩川内市地域包括支援センターは、**今年度から地域支援事業を担う包括支援グループと指定介護予防支援事業を担うケアプランセンターと役割を明確にして運営**しています。

包括支援グループは、高齢者等の自立に向けて地域ケア会議やケアマネジメント支援会議の開催を通じて地域の課題を抽出、専門職と地域住民や専門職同士のつながり作りに取り組んでいます。認知症があっても地域で安心して生活が送れるように認知症初期集中支援チームや認知症徘徊高齢者等SOSネットワーク事業等の認知症施策を推進しています。ケアプランセンターは、介護予防ケアマネジメント全般の業務を担い、高齢者等を包括的・継続的に支援していきます。

また、独居高齢者の増加に伴い身元引受人、保証人等を含む「身寄り」問題を今後の課題として取り上げ関係機関の協議を行い、どの様な支援策があるのか検討していきます。

### ケアマネジメント支援会議



## 在宅医療支援センターより

5月実施の「高齢者施設および障害者施設における看取り等の現状調査」及び8月実施の「在宅医療提供状況調査」のご協力ありがとうございました！調査結果は、後日ホームページへ掲載いたします。

いいせんネット 検索

